

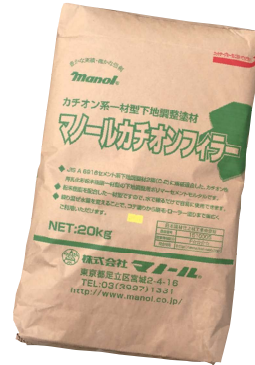
豊かな実績・確かな信頼

Manol

カチオン性一材型下地調整塗材

マノールカチオンフィラー

マノールカチオンフィラーは、カチオン性アクリル共重合体再乳化粉末樹脂を配合した水で練るだけの下地調整用プレミックスポリマーセメントモルタルです。



特長

- JIS-A-6916セメント系下地調整材2種(C-2)の性能試験に合格しており、カチオン性再乳化粉末樹脂の効果で各種下地に強力な接着力を発揮します。
- 再乳化粉末樹脂を配合した一材型ですので、水で練るだけで容易に使用できます。
- 耐水性に優れていますので防水・防湿箇所にも有効です。

用途

- 塗装・タイル・防水工事における新設及び改修用下地調整材
- コンクリート、モルタル、PC、ALCの補修

荷姿

- 20kg / 袋

標準配合

施工方法	マノールカチオンフィラー	水	練上り量	塗厚	標準施工面積
コテ塗り	20kg (1袋)	5.0kg～6.0kg	約13.0～13.5ℓ	1～2mm	約13～13.5m ² (1mm厚)
刷毛・ローラー		7.8kg	約15ℓ	0.5mm	約30m ² (0.5mm厚)

※ コテ塗りの水量は施工箇所や用途に応じて5.0kg～6.0kgの間で調整してください。

※ JIS-A-6916 セメント系下地調整材2種(C-2)の規程範囲の塗厚は1～3mmとなります。

① **下地処理** 施工箇所の脆弱部、汚れ、付着物、レイトンス等はワイヤーブラシ、サンダー掛け等で除去し、水洗い洗浄をしてください。

※ 下地が脆弱な場合、下地の引き起こし等で浮き・剥れの原因となる場合があります。

※ 下地に動き（ブロック目地等）がある場合は、適切なひび割れ抑制処置を行ってください。

※ 乾燥している下地へは十分な水湿しを行って下さい。また、下地の吸水が激しい場合や施工後にピンホールが想定される場合は、下地を乾燥させた後、マノールアクリットの3倍希釈液を塗布してください。

② **混練** 標準調合にて所定量の水を容器に入れ、マノールカチオンフィラーを徐々に加えながらハンドミキサー等で3分間混練してください。

※ アルミ製羽根のハンドミキサーで練混ぜを行うと、施工後モルタルが異常膨張することがありますので使用しないでください。

※ 可使用時間（20℃で60分）以内に使い切ることとし、水を加えての練り返しは避けてください。

③ **塗付け** 混練したマノールカチオンフィラーをコテで「しごき塗り」の要領でコテ圧をかけて塗り付けてください。刷毛・ローラーの場合はむらが残らないように塗付けてください。

④ **養生** 施工後は直射日光や風雨を避け、適切な養生を行ってください。

※ 塗付け後の養生期間は、夏期1週間以上、冬期2週間以上行ってください。

強度試験

材 令	圧縮強度(N/mm ²)	曲げ強度(N/mm ²)
7日	10.6	3.5
28日	26.8	5.8

※ 上記強度試験は、コテ仕様の標準配合で混練した試験結果となります。

※ 試験方法は JIS-R-5201 に準拠。

性能試験

試験項目	性 状		JIS-A-6916 C2 品質基準	
	コテ仕様	刷毛・ローラー仕様		
軟度変化(%)	-2.1	— *1	±20	
耐ひび割れ性	ひび割れ発生無し	ひび割れ発生無し	ひび割れがないこと	
付着強度 (N/mm ²)	標準養生時	2.5	2.6	1.0以上
	低温養生時	2.5	2.2	0.7以上
吸水量(g)	0.7	0.7	1.0g以下	
仕上材が複数 仕上塗材の 場合の耐久性	外 観	割れ、膨れ及びはがれなし		割れ、膨れ及びはがれがないこと
	付着強度 (N/mm ²)	2.3	2.0	1.0以上

*1: 刷毛・ローラー仕様のフロー値は広がりが大きく、測定が不可能な為。

※ 試験方法は JIS-A-6916 セメント系下地調整材2種 (C-2) に準拠。吸水調整材としてアクリットの3倍希釈液を使用。

※ コテ仕様は水/粉体=30%での試験結果です。

※ 上記試験結果は、JIS等の規格に定められた条件下で得られた測定値であり、保証値ではありません(社内試験)。

※ カチオンフィラーは JIS-A-6916 セメント系下地調整材2種 (C-2) の物性を有しております。

※ 別冊「JISによる性能試験結果」の用意もありますので、必要な場合はご請求ください。

注 意 事 項

(施工上の注意)

- 現場での砂、セメント等の混入は避けてください。
- 気温が5℃以下の時は施工を中止するか、適切な養生を行ってください。
- 施工中及び施工後、降雨、降雪の予想される場合は施工を中止してください。
- 硬化時間は、水温、気温、保管状態により異なりますので、ご注意ください。

(取扱上の注意)

- 取扱い時は、必ず保護具(保護手袋、保護眼鏡、マスク等)を着用してください。
- 取扱い時は、換気の良い場所に行ってください。
- 取扱い後は、うがい、手洗いを充分に行ってください。
- 取扱い後は、使用した工具類を早めに水洗いしてください。

(応急処置)

- ★目に入った場合直ちに多量の水で洗顔を、医師の診断を受けてください。
- ★皮膚に付着した場合直ちに水で洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ★誤飲した場合:多量の水を飲ませ吐かせた後、医師の診断を受けてください。

(保管上の注意)

- 粉体は吸湿性が有りますので湿気厳禁で保管してください。
- 混和液は、直射日光を避けて保管してください。

(その他の注意事項)

- 輸送時、落下、転倒、破損等がないように荷崩れの防止を行ってください。
- 廃棄する場合は、都道府県条例に基づいて処理してください。
- 粉体が混合した排水は、中和、希釈等を行ってください。
- 混和液は、海、河川、湖沼、池、下水道等へ流入すると汚濁汚染することになるので絶対に廃棄しないでください。
- ご使用前に安全データシート(SDS)をご確認ください。



セメント混和・助材総合メーカー
株式会社 マノール
<http://www.manol.co.jp/>

本社・東京営業所 / 〒120-0047 東京都足立区宮城2-4-16 TEL.03(3927)1331 FAX.03(3927)1334
 福島営業所 / 〒960-8075 福島県福島市下野寺字遠原3-2 TEL.024(591)1131 FAX.024(591)1127
 盛岡営業所 / 〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ2-1-17 TEL.019(641)1131 FAX.019(641)1332
 大阪営業所 / 〒535-0005 大阪府大阪市旭区赤川2-1-26 TEL.06(6927)3132 FAX.06(6927)3130

特約店